

1 発達心理学

- 発達段階 ピアジェ：自己中心性，脱中心化，エリクソン：ライフサイクル，心理社会的危機
- 乳幼児期の特徴 五感(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)，学習・記憶，アタッチメント(愛着)，共感
- 他者理解 心の理論の発達(4～5歳)→社会性発達の基盤，道徳的判断の発達
「ハインツのジレンマ」(コールバーグ)→道徳性の発達段階(前慣習的・慣習的・脱慣習的水準)
- 自己理解 青年期：アイデンティティの形成(エリクソン)→自分の存在や生き方を模索
- 中高年の発達 成人期：世代性への転換。老年期：量的・質的な幸福→サクセスフル・エイジング

2 認知心理学

- 知覚の過程 知覚…感覚器官で外界の刺激の情報を得ること→錯覚，奥行き知覚，知覚の恒常性
- 記憶 記憶の3段階：符号化・貯蔵・検索。短期記憶→ワーキングメモリ。長期記憶
- 問題解決と推論 演繹的推論，帰納的推論。批判的思考(クリティカルシンキング)。メタ認知

3 人格心理学

- 人格特性の理論 パーソナリティ(人格)…個性やその人らしさ
- パーソナリティの発達過程 遺伝と環境→共有環境，非共有環境

類型論	特性論
性格を典型的なタイプに当てはめる。	性格を複数の要素で量的に測る。
「内向型」「外向型」：ユング	オルポート，「ビッグファイブ」：ゴールドバーグ

4 感情心理学

- 感情 基本感情：人間の適応に意味を持つ。道徳とも関係
- 意欲 マズローの欲求階層説。動機づけ(外発的・内発的)。達成動機。自己効力感

STAGE

A

用語チェック

1 発達心理学

- ① 自己中心性から脱却することをピアジェは何とよんだか。
- ② 人生を8つの発達段階からなるライフサイクルにまとめた精神分析学者は誰か。
- ③ 自我同一性と訳される，自分が自分であるという感覚のことを何というか。

2 認知心理学

- ① 客観的性質と異なって知覚することを何というか。
- ② 情報を一時的に保ちながら同時に処理を行うシステムのことを何というか。
- ③ 客観的・多面的に情報を分析し，論理的に結論を導く思考方法を何というか。
- ④ 自分の認知の状態を客観的に把握することを何というか。

3 人格心理学

- ① 遺伝や環境によって形成される，その人の全体的な特徴のことを何というか。
- ② ①を複数の要素で程度を測り，組み合わせる方法を何というか。
- ③ ①を「神経症傾向」「外向性」などの五つの因子で表す方法を何というか。

4 感情心理学

- ① 人間の欲求を5段階の階層構造でとらえたアメリカの心理学者は誰か。
- ② ①の5段階階層のうち，あるべき自分になりたいという欲求を何というか。
- ③ 動機づけのうち，それ自体の達成を目的として行動をとることを何というか。

1. 【発達段階】 次の表を見て、下の問いに答えよ。

発達段階	特徴
感覚運動期(0～2歳ころ)	A
前操作期(2～7歳ころ)	B
具体的操作期(7～11歳ころ)	C
形式的操作期(11～15歳ころ)	D

問1 認知の発達に注目し、子どもの発達段階を表のように四つにまとめたスイスの心理学者は誰か。

問2 表のA～Dに入る適切な文を次から一つずつ選べ。

- ア. 脱中心化により、自己と他者の区別ができるようになる。
- イ. 抽象的な事に対しても論理的に考えられるようになる。
- ウ. 目や耳、手足を使った運動動作によって物事を認識する。
- エ. 象徴や記号を使うことができるようになる。

問3 次の①・②の行動はどの発達段階で表れるか。最も適当なものを下から一つずつ選べ。

- ① 太いコップに入れた水を細いコップに移しても、水の量は変わらないと判断できるようになる。
 - ② ボールを布で隠したときに、布の下にボールがあることを認識できるようになる。
- ア. 感覚運動期 イ. 前操作期
ウ. 具体的操作期 エ. 形式的操作期

問1	問2	A	B	C	D
問3	①	②			

2. 【心理学実験】 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

ある男性はとりわけ裕福というわけではありませんでしたが、奥さんと幸せに暮らしていました。ある時、奥さんが重い病気にかかってしまいました。医師は「最近開発された薬を飲む以外に、助かる方法はない。薬代は1,000万円である。」と言います。男性は色々なところからお金を借りて回りましたが、結局半分のお金しか集めることができませんでした。男性は医師に薬を売ってもらうように交渉しましたが、断られました。悩んだ末に男性は、病院に忍び込み、薬を盗みました。

問1 この文章は子どもの道徳的発達の段階を分析するための「ハインツのジレンマ」という心理学実験である。このジレンマを考案したアメリカの心理学者は誰か。

問2 問1の人物は、本文のようなエピソードにどのような理由付けをするかを考慮し、ア～ウの三つの道徳性の発達段階を提唱した。次の①～③は、どの発達段階の発言と考えられるか。最も適当なものを下から一つずつ選べ。

- ① 「周りの人はみんな仕方ないと思ってくれるから、盗んでもいいと思うよ。」
 - ② 「薬は盗むべきじゃないよ。警察に捕まってしまうじゃないか。」
 - ③ 「盗んだ自分を責めるかもしれないけれど、奥さんの命が一番大切だよ。」
- ア. 前慣習的水準
イ. 慣習的水準
ウ. 脱慣習的水準

問1	問2	①	②	③
----	----	---	---	---

3.【青年期の特徴】 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

^{a)}青年期の特質は、〈自我の目覚め〉にともなう激しい自己主張だといわれる。しかし、それは、青年が確かな自分を持っているからではなく、むしろ自分という人間を^{つか}掴みかねているからなのである。そのため、青年は自己嫌悪や無力感に襲われることも少なくない。アメリカの心理学者エリクソンは、こうした青年期特有の状況を(①)の拡散とよんでいる。彼は、この危機状況を克服することが^{b)}(②)すなわち人生周期における青年期の発達課題だと考えた。こうした危機状況のなかで、青年は、大人文化への反発や抵抗を繰り返しながら成長していくのである。

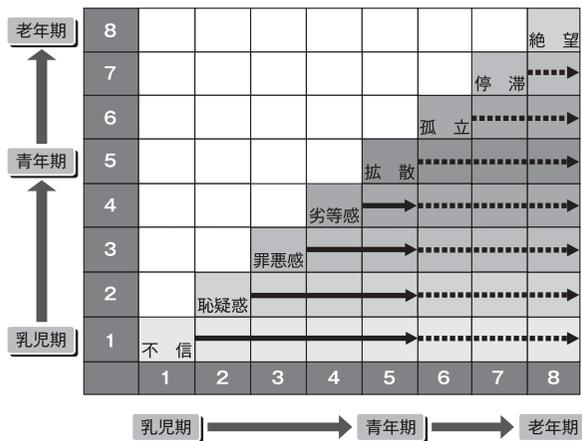
問1 下線部(a)について、青年期の特徴について述べた文として適当でないものを次から一つ選べ。

- ア. 親や教師などの身近な大人の意見の中から、自分に最も適した生き方を選択する。
- イ. 親の監督や保護から離れ、一人の人間として精神的に自立しようとする。
- ウ. 自己に対する意識が高まり、行動・判断の主体としての自我が目覚めてくる。
- エ. 周囲の大人との考え方のズレを感じ、反抗的な態度をとることがある。

問2 空欄(①)(②)に適する語句を答えよ。

問3 下線部(b)について、次の問いに答えよ。

- i 次の図は、エリクソンの人生周期における発達課題の過程を示したものである。図中の各発達段階のことは危機状況を示しているが、逆に乳児期と老年期に達成すべき発達課題の組合せとして正しいものを下から一つ選べ。



	乳児期	老年期
ア	自律性	親密性
イ	基本的信頼	勤勉性
ウ	親密性	自我統合
エ	自律性	勤勉性
オ	基本的信頼	自我統合

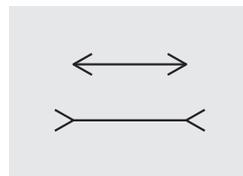
- ii 「成人期」以降の発達課題として、正しいものを次からすべて選べ。

- ア. しつけを自分のものとして受け入れる。
- イ. 異性間での親密さを持ち、家族を作る。
- ウ. 周囲の承認を得る喜びや達成感を学ぶ。
- エ. 子を育て、若い世代を指導・育成する。

問1	問2 ①	②
問3 i	ii	

4. 【認知の過程】 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

認知は外界の情報を得る知覚から始まる。右の図を見ると、上下の横線は同じ長さであるが、下の横線の方が長く見える。このように私たちは外界の刺激をそのまま知覚するわけではなく、実際とは異なって知覚することもある。また知覚は(X)を持つ。物を離れたところに置いて、大きさが変わらないと認識するのは大きさの(X)が働いているからである。



経験したことを保持し、必要に応じて取り出すことを記憶という。記憶は短期記憶と長期記憶の二つに大きく分けられる。

問1 図を考案した人物として正しいものを次から一つ選べ。

- ア. エビングハウス イ. ミュラー＝リヤー
ウ. ヴント エ. ジャストロー

問2 文中の空欄(X)に入る語句を答えよ。

問3 下線部について、短期記憶の特徴として適当なものを次から一つ選べ。

- ア. 情報のまとまりとして11前後しか保持できない。
イ. 自分の名前をすぐに言えるのは、短期記憶が働いているからである。
ウ. 自転車の乗り方を忘れないのは、短期記憶が働いているからである。
エ. 容量に制限があるので、数十秒程度で忘却してしまう。

問1	問2	問3
----	----	----

5. 【問題解決と推論】 次の会話文を読み、下の問いに答えよ。

先生：「今日の授業は経済格差についてでしたね。皆さん感想を述べてください。」

- A：「私は先進国と発展途上国の間で大きな経済格差があることを知りました。日本はかつて高度経済成長で先進国の一員になり、中国やインドも近年著しい経済発展を遂げました。他の発展途上国もこれから発展して、国同士の格差は縮まっていくと思います。」
- B：「私は国と国の間だけでなく、国内にも格差があると思います。人が社会で生きる上で、多かれ少なかれ格差はあるものだからです。それは先進国も同じ事です。日本のような先進国でも、私たちの身近なところに格差の問題があるはずです。」

問1 会話文中のAとBは、問題解決のために推論している。それぞれの推論を何というか。

問2 推論する上で、情報を客観的にとらえ、多面的に考える思考法を何というか。

問3 Aの発言に対して、問2の思考ができていないものを次から一つ選べ。

- ア. 「先進国と発展途上国の間に大きな経済格差があるけれど、他の発展途上国もこれから経済成長して、格差がなくなるといいね。」
- イ. 「日本もかつて経済成長をしたというけど、それは今から50年以上も前の話だから、今と同じように考えることはできないよね。」
- ウ. 「中国やインドが近年経済発展してきたことは事実だけれど、他の発展途上国も同じように発展するとは言えないよね。」
- エ. 「他の発展途上国が経済発展すれば、国同士の格差は縮まると言うけれど、先進国も発展するなら、相対的に格差はあると言えるよね。」

問1 A	B	
問2		問3

6. 【パーソナリティの理論】 次の表を見て、下の問いに答えよ。

性格のとらえ方	類型論	(X)論
特徴	性格をいくつかの典型的なタイプに当てはめる。	性格を複数の要素に分け、その程度を量的に測る。
提唱者	ユング	オルポート、ゴールドバーグ

問1 表中の(X)に入る語句を答えよ。

問2 下線部について、ユングの性格類型として正しいものを次から一つ選べ。

- ア. 人間の体型によって性格の違いを分類した。
- イ. 「審美型」「経済型」など6種の文化的価値のうち何を追求するかで性格を分類した。
- ウ. 心的エネルギーの方向により、「内向性」と「外向性」に分類した。
- エ. 精神病質を10個の類型に分類した。

問3 類型論の特徴について述べた文として正しいものを次から一つ選べ。

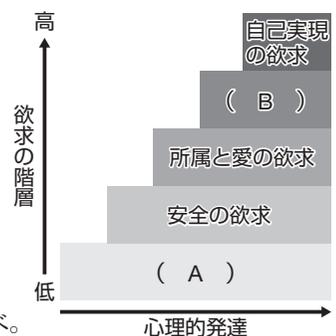
- ア. 個人間の比較がしやすい。
- イ. 中間にあたる型も理解可能で、画一化の恐れがない。
- ウ. 個人の全体像が把握しにくい。
- エ. 型にあてはまらない部分を見逃しやすい。

問1	問2	問3
----	----	----

7. 【欲求】 次の文を読み、下の問いに答えよ。

私たちは目標達成のために意欲を持って取り組んだり、意欲がなかなかわいてこないということを経験する。意欲と関わるのは欲求と動機づけである。右の図のように、(X)は低次の欲求がある程度満たされないと高次の欲求が生じないと説いた。

動機づけには外発的動機づけと内発的動機づけがあり、どちらもやる気を生み出すためのものである。



問1 文中の(X)に入る人物名を答えよ。

問2 図中のA・Bに入る語句を答えよ。

問3 図中の「所属と愛の欲求」の説明として正しいものを次から一つ選べ。

- ア. 目指すべき自分になりたいという欲求。
- イ. 他者と関わりながら生きていきたいという欲求。
- ウ. 空腹や睡眠など、生命を維持したいという欲求。
- エ. 価値ある存在として評価されたいという欲求。

問4 下線部について、次の①・②は外発的動機づけと内発的動機づけのどちらにあたるか。組合せとして正しいものを下から一つ選べ。

- ① 将来医師になるという目標のためには頑張らなければならないと思い、勉強に励んだ。
- ② 母親から「頑張ったね」と言ってもらえるのが嬉しくて、ピアノの練習に励んだ。

- ア. ①—外発的動機づけ ②—内発的動機づけ
- イ. ①—内発的動機づけ ②—外発的動機づけ
- ウ. ①②—外発的動機づけ
- エ. ①②—内発的動機づけ

問1	問2 A	B
問3	問4	

1 発達心理学

(1) 青年期は社会を構成する一員として、他者との関係を培っていく時期である。この時期に特徴的にみられる個々人の心の発達について、次のア～エのそれぞれの説を提唱した心理学者を、下のa～dのうちから一つずつ選び、その組合せとして最も適当なものを、後から一つ選べ。 [共通] 22試作(公共, 倫理)

ア 社会的自我の形成には、他者が深く関わっており、さまざまな立場の他者との相互作用を通して、一般化された他者からの期待を身につけていく。

イ 自己中心的な立場から離れ、客観的で多面的なものの見方ができるようになり、具体的な事象を超えた抽象的思考が可能になる。

ウ 他者との間に信頼関係が築けるようになるには、乳幼児期に子どもと養育者との間で愛着(アタッチメント)が形成されることが重要である。

エ 道徳性の発達において、人権と正義といった現実の社会の規則を超えたより普遍的な道徳原理を基準に、道徳的な判断ができるようになる。

a ピアジェ b ポウルビエ c コールバーグ d G.H. ミード

- ① アーa イーb ウーc エーd ② アーa イーc ウーb エーd
 ③ アーa イーd ウーb エーc ④ アーc イーa ウーb エーd
 ⑤ アーc イーa ウーd エーb ⑥ アーd イーa ウーc エーb
 ⑦ アーd イーa ウーb エーc ⑧ アーd イーb ウーa エーc

2 人格心理学

(1) 次の資料は、子どもの資質や環境と将来の成功の関係についての研究をまとめたものであり、倫理の授業で配付された。これを読んだ生徒の発言のうち、資料の趣旨に合致する発言として最も適当なものを、下から一つ選べ。 [共通] 23本試(倫理)

資料

子どもの自制心と将来の成功の関係を調べた心理学者ミシュルの実験に、「マシュマロ実験」と呼ばれるものがある。実験者は、子どもの前にマシュマロを1個置き、「戻ってくるまでマシュマロを食べるのを我慢できたらもう1個あげる」と伝えて一旦部屋を出た後、子どもたちの様子を観察した。子どもたちが成人した後実施された調査では、より長い時間我慢できた子どもは、より学力が高く経済的にも成功していたという。

しかし、この実験では参加者が、親が高学歴である家庭の子どもに限られており、他の研究者たちが様々な家庭環境の子どもを参加者として再度実験を行ったところ、マシュマロを食べるのを我慢できる時間の長さよりも、家庭の経済状況の方が、将来の成功との関係が深いとされた。ただし、この新しい実験に対する批判的な指摘もあり、将来の成功に対して本人の資質と家庭環境のどちらがより大きく影響するかについては、研究者間での議論が続いている。

- ① マシュマロを食べるのを自制できる時間が長い子どもの方が、家庭環境を問わず将来成功するなんて、やっぱり自制心が大事なのかもしれないな。
 ② 当初のマシュマロ実験では参加者の家庭環境が限定されていたから、幅広い家庭環境の参加者から得られた結果と異なっていたのかもしれないな。
 ③ 成功している大人は、もし子どもの頃にマシュマロ実験を受けていたら、みんなマシュマロを食べるのを人より長く我慢できていたんだね。
 ④ 結局、マシュマロを食べるのを我慢できる時間の長さは将来の成功には全く関係ないんだから、家庭環境が大事だってことなんだね。

3 青年期の意義と課題

(1) 青年期の発達課題として適当でないものを、次から一つ選べ。 [セツク] 10追試(倫理)

- ① 両親や他の大人からの精神的自立 ② 自分自身の人生目標の設定
 ③ 職業の選択と職業生活への準備 ④ 行動の基盤となる価値観の形成
 ⑤ 他者への基本的信頼感の獲得

1 さまざまな人間の心のあり方

(2) 大人への移行期の発達段階を説明した次のア～ウの正誤の組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。

【センター 13 追試(倫理)】

ア 近代化・産業化の進展とともに、大人としての自立を準備する段階としての青年期が出現したが、その期間は縮小する傾向がある。

イ 心身発達上の大きな変化が生じる10歳ころから青年期になるまでの時期を、プレ青年期として発達上の一つの段階と位置づけることがある。

ウ 現代では、身体発達の早期化で、全体的に青年期の終わりが早まる一方、生活様式が画一化し発達の個人差が小さくなる傾向がある。

- ① アー正 イー正 ウー正 ② アー正 イー正 ウー誤 ③ アー正 イー誤 ウー正
 ④ アー正 イー誤 ウー誤 ⑤ アー誤 イー正 ウー正 ⑥ アー誤 イー正 ウー誤
 ⑦ アー誤 イー誤 ウー正 ⑧ アー誤 イー誤 ウー誤

(3) 次のア～ウは、自己の確立について考察した人物の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。

【センター 17 本試(倫理)】

ア 小此木啓吾は、一人前の人間として自立することを回避して大人になろうとしない青年期の人間を、「モラトリアム人間」と呼んだ。

イ アリエスは、自立を図ろうとするあまり自己主張が強くなって大人と軋轢あつれきを起こすような青年期の人間を、「小さな大人」と呼んだ。

ウ アドラーは、子どもと大人の集団の境目に位置していて心理的に不安定になりがちな青年期の人間を、「マージナル・マン」と呼んだ。

- ① アー正 イー正 ウー正 ② アー正 イー正 ウー誤 ③ アー正 イー誤 ウー正
 ④ アー正 イー誤 ウー誤 ⑤ アー誤 イー正 ウー正 ⑥ アー誤 イー正 ウー誤
 ⑦ アー誤 イー誤 ウー正 ⑧ アー誤 イー誤 ウー誤

4 自我の発見と自己形成

(1) 乳児から高齢者に至る発達過程を理論化したエリクソンの考えとして正しいものを、次から一つ選べ。

【センター 13 本試(倫理)】

① 人間が自己を確立していく過程は人生において8段階あり、各段階には達成すべき心理的・社会的課題が設定されていると考えた。

② ライフサイクルのなかで、青年期の発達課題は他者に対する基本的信頼を獲得することにあり、それが自己肯定感の基盤になると考えた。

③ アイデンティティ確立後も、人は多くのことを学び、成長していくが、人にはそれを可能にしている一次的欲求があると考えた。

④ 成熟した人格の確立には、他者からの視点を意識しつつ、物事を客観的に捉える脱中心化が不可欠であると考えた。

(2) 二つの欲求が対立する葛藤かっとう状況に関する説明として最も適当なものを、次から一つ選べ。

【センター 14 本試(倫理)】

① レヴィンは、一つの対象に接近したい欲求と回避したい欲求を同時に抱く状況において、どちらを選択するか葛藤する人間を、境界人と表現した。

② シュプラングァーは、青年期には内向型の価値と外向型の価値とが葛藤を起こし、その解決を通して自己形成に至るとする、性格の類型論を提起した。

③ 防衛機制とは、葛藤や欲求不満に対する心の反応で、抑圧や退行などが原因となって心の安定が乱され、不安や緊張に陥ることである。

④ ヤマアラシのジレンマとは、相手に接近したい気持ちと、お互いが傷つくことへの恐れとが葛藤を起こし、適度な距離を見いだすににくい状況を表す。

(3) 葛藤の4類型と、日常生活での葛藤場面との組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。

【センター 11 本試(倫理)】

A 接近—接近：叶えたいと思う複数の対象が同時に存在し、すべてを叶えることはできない場合に起こる葛藤

B 回避—回避：避けたいと思う複数の対象が同時に存在し、すべてを避けることはできない場合に起こる葛藤

C 接近—回避：一つの対象に叶えたい要素と避けたい要素とが併存している場合に起こる葛藤

D 二重接近—回避：二つの対象が同時に存在し、そのおのおのに叶えたい要素と避けたい要素とが併存する

場合の葛藤

- ア 密かに思いを寄せていた人と友人が結婚することになり、スピーチを頼まれて断りたいが、友人に不審がられそうで、断るに断れず悩んでいる。
- イ 第一志望の学部はあるが遠隔地のため親が反対するA大学と、地元にあるが第一志望の学部のないB大学と、どちらを受験しようか悩んでいる。
- ウ 雇用条件が良くて安定した会社の入社試験と、もともと入りたかった劇団のオーディションと、どちらを受けるべきか悩んでいる。
- エ 憧れの先輩がいるクラブに入部しようと思っていたが、練習がとて厳しく時間も長いと聞き、入部すべきかどうか悩んでいる。
- ① アーC イーA ウーB エーD ② アーB イーA ウーD エーC
 ③ アーD イーC ウーA エーB ④ アーA イーC ウーB エーD
 ⑤ アーB イーD ウーA エーC ⑥ アーA イーD ウーC エーB

(4) 防衛機制としての逃避に当てはまる事例として最も適当なものを、次から一つ選べ。 [センター 17本試(倫理)]

- ① 本当は好意をもっているクラスメートに、わざと意地悪なことを言ったり、無関心を装って冷たい態度を取ったりする。
- ② 溺愛していた一人息子が海外留学に出かけてしまって寂しくなった夫婦が、代わりに小犬を飼うことで心の隙間を埋めようとする。
- ③ 自分がいつまでもレギュラー選手になれないのは、自分のせいではなく、選手の実力を把握できていない監督のせいだと考える。
- ④ 部活動が苦痛になってきた生徒が、普段は何ともないのに部活動の時間が近づくと体調を崩し、このところ部活動を休んでいる。

5 パーソナリティの形成と生きがい

(1) 自己理解の手がかりとなる次の用語と、具体例との組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。

[センター 11本試(倫理)]

- A 自己実現 B 自我意識 C 自己愛 D 自我同一性
- ア 私は子どものころ、自分は家業に全く向いていないと思っていたけれど、仕方なしに手伝い始めた家業にいつの間にか打ち込むようになっていた。最近ではそれが自分に向いているのではないかと感じ始めている。
- イ 私と接した人はみんな私を好きになるようだ。しかし、私が友人たちのように簡単に恋人を作ったりしないのは、私に釣り合うような相手が身近にいるとは思えず、自分を大切にしたいからだ。
- ウ 私は内気で気の利かない人間だと思っているが、友人からは思慮深くて信頼できる人だと言われた。友人の意見をきっかけに、私という人間について改めて考えるようになった。
- エ 私は、大学病院の看護師として勤務しているが、将来は医療の恩恵を受けにくい離島や発展途上国で働きたいと考えている。そのために、現地で求められる看護技術や知識について、もっと研鑽^{けんさん}を積んでゆきたい。
- ① アーA イーD ウーB エーC ② アーD イーC ウーA エーB
 ③ アーB イーA ウーC エーD ④ アーD イーC ウーB エーA
 ⑤ アーC イーB ウーD エーA ⑥ アーA イーD ウーC エーB
 ⑦ アーC イーA ウーB エーD ⑧ アーB イーC ウーD エーA

(2) 次のア～ウは、自我・自己・個性の形成と社会や他者との関わりについての考え方を説明したものである。その正誤の組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。 [センター 13本試(倫理)/改]

- ア マズローは、自己実現に至る欲求の五つの階層のなかで、身体の安全を求める欲求より上位に、他者に認められたい欲求をおいた。
- イ マーガレット＝ミードは、サモア島などでの調査から、歴史的・地域的な状況が個性の形成に大きく影響すると考えた。
- ウ ユングは、個人の社会的経験を通じて後天的に身についた集合的無意識と自我の関連を、神話や伝説の分析を通して指摘した。
- ① アー正 イー正 ウー正 ② アー正 イー正 ウー誤 ③ アー正 イー誤 ウー正
 ④ アー正 イー誤 ウー誤 ⑤ アー誤 イー正 ウー正 ⑥ アー誤 イー正 ウー誤
 ⑦ アー誤 イー誤 ウー正 ⑧ アー誤 イー誤 ウー誤

8. 【他者理解と世代性】 高校生JとKの次の会話を読み、以下の問いに答えよ。

〔共通〕22本試(倫理)/改

J：私個人の行動が、未来の人の生活に影響することなんてあるのかな。

K：電気やガスの使い過ぎで温暖化も進んだ、と授業で習ったね。個人の行動も未来に影響はするよ。

J：なるほど。だけど、そもそも私たちに未来世代に対する責任があるのかな。この責任を負う相手には、遠い将来の人も含まれるかもしれないわけでしょ。

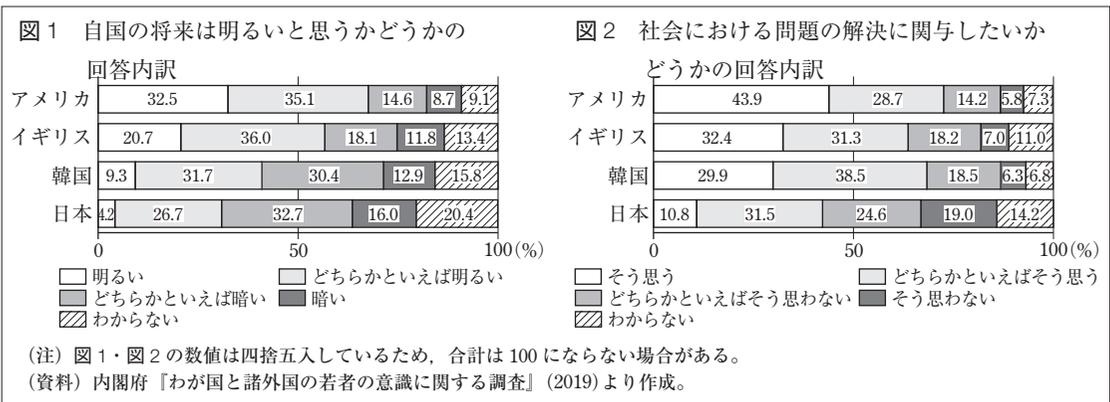
K：そういう人を思いやるのは難しいけれど、何もしないことの言い訳になる？ 遠い未来に生まれるとしても私たちと同じ人間なんだから、道徳的に考えると、その人たちの利害も重要なんじゃないの。

J：うーん、まだ存在もしていない人の利害よりも、いま現に生きている人の利害の方が大事な気もする。それに同時代の人に何かよいことをするならお返しをしてもらえらる可能性があるけど、未来世代の人からは何も返してもらえないよ。一方的な自己犠牲をしなきゃいけないの？

K：それは本当に一方的な自己犠牲なのかな。私たちが有限な人生を生きることの意味や幸福って、誰かが私たちの遺産を引き継いで幸せに生きていってくれるっていう期待にかかっているんじゃないの。

問1 下線部について、次の図1・図2は、様々な国で10~20歳代の男女約1,000名を対象に、自国の将来や社会についての意識調査を行った結果の一部である。図1・図2から読み取れることについて述べた下の文章の空欄

a b に入る記述の組合せとして最も適当なものを、後から一つ選べ。



・日本では、自国の将来が明るいと思うかについても社会問題の解決に関与したいかについても、 a 。

・韓国では、 b 。

- ① a 他の国と比べて「わからない」という回答の割合が高い
b 自国の将来が「明るい」という回答は10%に満たないし、社会を良くするために自分が問題を解決しようという回答の割合も「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算では、イギリスより低い
- ② a 他の国と比べると悲観的な回答や否定的な回答の割合が高い
b 自国の将来が明るいと思う人が少数派という点では日本と似ているが、社会を良くするために自分が問題を解決しようと思うかについては肯定的な回答が日本と違い多数派である
- ③ a 他の国と比べて「わからない」という回答の割合が高い
b 自国の将来が明るいと思うかについては過半数の回答が楽観的という点でアメリカと似ているが、社会問題の解決に関与したいかについては否定的な回答が少数派でアメリカと対照的である
- ④ a 他の国と比べると楽観的な回答や肯定的な回答の割合が高い
b 自国の将来が明るいと思うかについては悲観的な回答の方が多いという点でアメリカと対照的だが、社会問題の解決に関与したいかについては肯定的な回答が多数でアメリカと似た傾向である

問2 Kの発言だと思われるものを、次から一つ選べ。

- ① 顔も知らない未来の人のことではなく、とりあえず自分の子どもの幸福を考えるべきだよ。
- ② 未来の人たちにとって何が良いかは、私たちに予想できないから考えても意味がないんじゃないかな。

- ③ 今起きている環境問題は、過去に生きた人たちの行動にも責任があるといえるんじゃないかな。
- ④ 私たちの幸福は後先考えず自由に生きてることだから、未来の人たちもそんな風に生きて欲しいな。

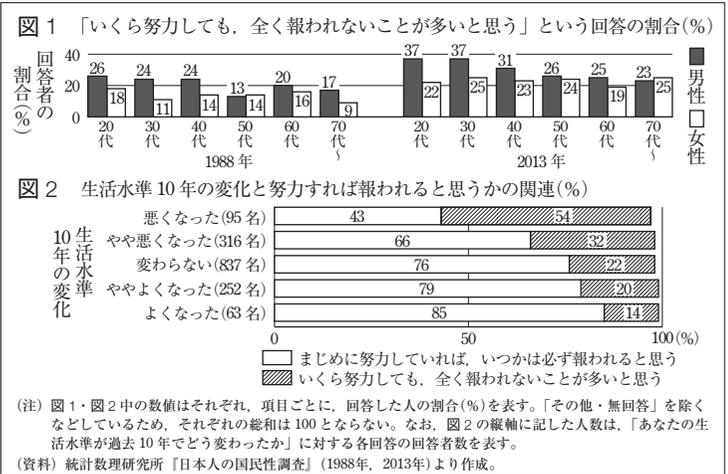
9. 【パーソナリティの発達過程】 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

〔共通〕23本試(倫理)/改

学力の個人差は何から生じるのだろうか。要因として考えられるものの一つに遺伝がある。親から受け継いだ才能や学力だけでなく、粘り強く努力して取り組む性格などである。もう一つには環境がある。特に家庭環境は親の学歴や収入だけでなく、たとえ収入が高なくても親がどれだけ熱心に環境を整えているかによって違いがあるとされ、子どもは家庭環境を選べないことから、近年「親ガチャ」という言葉によって注目されている。

また、学力が高い親の家庭には蔵書数が多く、子どもが自然と学ぶ機会に恵まれるというように、遺伝と環境は互いに関連し合っている。

問1 下線部に関して、「まじめに努力していれば、いつかは必ず報われると思う」と「いくら努力しても、全く報われないことが多いと思う」という意見のどちらに自分の気持ちが近いかを、日本の様々な年齢の人に尋ねた調査がある。右の図1は、その調査の1988年と2013年の結果の一部であり、図2は、2013年の結果と「あなたの生活水準が過去10年でどう変わったか」という質問への回答の関連を分析したものである。図1・図2についてGとHが交わした会話を読み、会話中の **a**・**b** に入る記述の組合せとして最も適当なものを、後から一つ選べ。



- H: 今日の授業で配付された図1・図2って、以前議論した努力と運の話に関係ありそうだね。
- G: 図1を見ると、**a**。1988年は景気がよくて、2013年は景気があまりよくなかった時期だと思うけど、そうした背景との関係はどうかのかな。
- H: うーん。2013年の調査に基づく図2では、**b**。
- G: 努力が報われると感じるかどうかは、その人が置かれている経済状況とも無関係ではない気がするなあ。
- ① a 大まかな傾向として、男性については、1988年でも2013年でも、若い世代の方が努力は報われないと考える人の割合が高いね
 - b 全ての回答を合わせてみると、努力は報われないと考える人の方が報われると考える人より多いね
 - ② a 2013年では、特に女性について、年齢が上がるほど努力が報われないと考える人の割合が低くなる傾向があるね
 - b 全ての回答を合わせてみると、努力は報われると考える人の方が報われないと考える人より多いね
 - ③ a 男女問わず、1988年よりも2013年の方が、努力は報われないと考える人の割合が増えているね
 - b 生活水準が悪化したと感じている人ほど、努力は報われないと考えている傾向が見られるよ
 - ④ a 努力は報われないと考える人の割合は、大まかな傾向として男性の方が多いけど、2013年には女性の割合も各世代で増えているね
 - b 生活水準が「悪くなった」と「やや悪くなった」という回答の合算の方が、「よくなった」と「ややよくなった」という回答の合算より少ないね

問2 本文の内容に合うものを、次から一つ選べ。

- ① 学力が高い親の子どもは、学力が高い傾向にあるので生まれた時点で子どもの学力は決まっている。
- ② 親の収入が低いと、家庭の教育環境が整わないので、学力を向上させることはできない。
- ③ 語彙の豊富な親が話しかけることで子どもが多く of 言葉を覚えるように、遺伝と環境は相互に依存し合っている。
- ④ 親から遺伝するものは記憶力や論理性などの学力であり、忍耐力や寛容性は遺伝しない。